

2024年度 授業計画（シラバス） 日本コンピュータ専門学校

学科名	学年	授業のタイトル（科目名）	
工業専門課程 デジタルクリエイター科	1	造形基礎	
授業の種類	授業担当者	実務経験	
講義と演習	新沢 靖雄	有	
<b>[実務経験歴]</b>			
<p>少年マガジン、ヤングマガジンで佳作等受賞。 週刊少年サンデー（小学館）、マガジンFRESH（講談社）に作品掲載、通算掲載数5本。 企業広告イラスト、企業広告漫画（ウェブ、紙媒体）多数。</p>			
単位数（授業の回数）	時間数☒	配当時期	必修・選択
2 単位（30回）	60 時間	前期	選択
<b>[授業の目的・ねらい]</b>			
<p>人物造形を基本とし、人体のパーツを絵にする基礎を学ぶ。 立体を表現する画法を学ぶ。 動物や、一般的な乗り物等、生活に関連したものの観察眼を養う。 生活における人や物を絵にする技術を習得する。</p>			
<b>[授業全体の内容の概要]</b>			
基本、レクチャーの後、課題のデッサンを通じて、個別に指導を行う。			
<b>[授業終了時の達成課題(到達目標)]</b>			
漫画やウェブデザインにおけるプレゼンテーションに必要な絵を描けるようにする。			
<b>[準備学習の具体的な内容]</b>			
<p>授業ごとに前回の作品を批評し、皆で確認する。 課題作成中に個別指導を行う。</p>			
<b>[使用テキスト]</b>		<b>[単位認定の方法及び評価の基準]</b>	
使用テキスト		定期試験と出席日数の両方が次の規定に達した場合に認定する。	
無し		・試験の点数は60点以上を合格点とする。	
参考文献		・全出席日数の4分の3以上の出席が必要。	
必要に応じて授業の中で紹介する。		評価基準	
		定期試験80%、平常点（出席、講義の参加度）20%とする。	
<b>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</b>			
1回	クラスメイト似顔絵（オリエンテーション）		
2回	クラスメイト似顔絵（オリエンテーション）		
3回	絵の描き方基礎		
4回	イラストの模写		
5回	イラストの模写		

6回	クルマを描く
7回	動物を描く
8回	グリッドを使って似顔絵を描く
9回	風景と透視法
10回	透視法
11回	折り紙で作った立方体を描く
12回	立方体群を描く
13回	屋外の風景を描く
14回	グリッドでクルマを描く
15回	目を描く
16回	手を描く
17回	髪の毛の描き方
18回	屋内を描く
19回	屋内に人を置く
20回	ペーパークラフト
21回	ペーパークラフトデッサン
22回	自転車を描く
23回	ラーメンを描く
24回	スイーツを描く
25回	肉料理を描く
26回	グリッドでポーズを描く
27回	動物フィギュアを描く
28回	全身速描き1
29回	全身速描き2
30回	まとめと振り返り

## <お願い事項>

←学科名は、セルを選択すると右にセレクトが出ます。学科を選択してください。

←授業の種類は、講義：教科書を使って講義中心の場合、実習：主に実習に場合、演習：主に論文や作文などの場合、両

←実務経験は、企業に所属やフリーランス等で実際の業務に携わった内容を簡単に書いてください。

←企業名などの情報を書く必要はありません。

←企業等に所属せず、フリーランスや請負、プロとしての実績なども実務経験歴になります。

←配当時期は、1単位は：「前期」または「後期」、2単位以降は、「通年」になります。

←必修・選択は、不明な場合は選択されなくてもかまいません。

←授業の目的・ねらいは、この授業でどのようなことを理解させ習得させるかをの目標・ねらいを書いてください。

←授業全体の内容の概要は、本の章立てのことで、学習するおおまかな内容を書いてください。

←授業終了時の達成課題(到達目標)は、授業終了時まで習得させる学習目標を書いてください。

←準備学習とは、予習、復習、課題、宿題等の授業時間外の自学自習を指します。

←使用テキストは、セルを選択すると右にセレクトが出ます。教科書または、教材を選択してください。教科書を使われ

←単位認定の方法及び評価の基準は、評価基準が異なる場合は、変更してください。

←参考文献は、特に変更する必要はありません。

←90分を1回（1コマ）として記入してください。

← 第一回定期試験とは書かないでください。

← 第二回定期試験とは書かないでください。

方半々ぐらいの場合は、2 たつにチェックしてください。

ない先生は、プリント教材または、ホームページ、PDF教材を選んでください

